

まだ 二つの意味を持つ川柳

令和6年12月

青野正宏

彼 or 彼女「デート中だけれども あの行動にはがっかりした。今日はもう終わりにしたい」
そこで一句 ああれ見れば もうかえるか(帰るか 蛙か)な デート中

室内で球蹴りをしていた連中「おい あいつ一緒にプレイしていたかと思うと、急にいなくなつたぞ どこいったのだ」
そこで一句 室内で 球蹴りすると ふっとさる(フットサル ふっと去る)

「おい、あの犬は真っ白だな おまけにいろいろな芸もできるそうだ」
そこで一句 芸をする あの白犬は おもしろい(面白い 尾も白い)

「旅行シーズンだね 紅葉がきれいなら宮島へ行こうか」
そこで一句 もみじとき あきの(秋の 安芸の)宮島 見頃かな

女性「ケーキ用意したよ 二人で食べよう」男性「まてまて。俺が公平に分けてやるよ」
女性「なんでも自分がやらないと気が済まないのだから」
そこで一句 このケーキ 俺が分けると ○○○○

A「拙者 登山が趣味でござって 先日もあの山の上まで登ったでござる。」 B「それはそれはたいしたものだ」
そこで一句 登ったは、あの山の上 ちょうじょう(頂上 重畳)だ
備考 重畳・・・喜ばしいこと 時代劇などで出てくる

「ああ、この器具の部品こわれちゃった。この部品かを交換したいから、買ってきてくれ」
「いや、この部品は製造中止で代替品ありません。」
そこで一句 あの部品 製造中止で かえないよ(買えないよ 替えないよ)

「えっと この料理は塩がどれくらい必要かわからないな いいや適当に振っちゃえ」「できたな どれどれ あ しょっぱ過ぎる 失敗した」
そこで一句 適当に 塩を加えて あじみする(味見する 味ミスる)

宇治拾遺物語 無悪善 の現代語化

そこで一句 さが(嵯峨 悪)なくば いいだろうとの 落書きが蛇足 原文 今は昔、小野篁といふ人おはしけり。嵯峨の帝の御時に、内裏に札を立てたりけるに、「無悪善」と書きたりけり。帝、篁に、「読め。」(中略)と仰せられたりければ、「さがなくてよからんと申して候ふぞ。されば、君を呪ひ参らせて候ふなり。」